

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 113	提案機関名 (一社)神奈川県園芸協会(県花き園芸組合連合会)
<b>要望問題名</b> スイートピーの灰色カビ病(ボトリチス)対策のための温室環境について	
<b>要望問題の内容</b> 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 花シミの原因となるボトリチス対策は、湿度を上げないことが重要であり、ボトリチスが発生し難い温室環境(換気扇の付け方、風の循環のさせ方など)について検討をお願いしたい。併せて、現場でのボトリチスの簡易検定法について情報提供及び検討をお願いしたい。	
<b>決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2~3年以内    ③4~5年以内    ④5~10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	生産環境部病害虫研究課 生産技術部果樹花き研究課
<b>対応区分</b>	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合)		
<b>対応の内容等</b>	<p>灰色かび病対策として湿度管理は重要な位置を占め、湿度管理の方法は樹勢の管理や圃場の排水の改善、作物へのかん水量の調節、地表面のマルチング、防霧性フィルムの使用、そして換気扇(加温器)利用による風循環を利用した湿度や植物体表面の結露時間の低下などが挙げられます。スイートピーの栽培管理上、加温器の稼働機会はトマトやキュウリなどに比べて少ないことから、温室構造や規模などの条件や他の湿度管理の影響を多く受けるため、換気扇(加温器)利用で湿度を低下させる統一した条件を見つけることは難しいと考えられます。このため、普及指導部が行う普及指導活動に協力し、各種湿度管理の方法の中から灰色かび病対策に効果的な方法を選択する技術的なサポートを行います。</p> <p>また、現場での灰色かび病の検定法は現在、肉眼観察以外にないため、今後簡易な検査試薬キットなどが販売されましたら、情報提供します。</p>		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内    ②2~3年以内    ③4~5年以内    ④5~10年以内		
<b>備考</b>			